



令和元年10月28日

各位

上場会社名 株式会社 コンセック
 代表者 代表取締役会長 佐々木 秀隆
 (コード番号 9895)
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 寺本 泰之
 (TEL 082-277-5451)

令和2年3月期第2四半期累計期間及び令和2年3月期通期 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、令和元年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

令和2年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成31年4月1日～令和元年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,000	△1	25	△20	△11.15
今回修正予想(B)	5,370	107	131	64	35.40
増減額(B-A)	370	108	106	84	
増減率(%)	7.4	—	424.0	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成31年3月期第2四半期)	4,761	△26	17	△21	△11.90

令和2年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,200	120	170	60	33.45
今回修正予想(B)	10,400	140	180	80	44.60
増減額(B-A)	200	20	10	20	
増減率(%)	2.0	16.7	5.9	33.3	
(ご参考)前期実績 (平成31年3月期)	10,002	82	158	10	5.59

令和2年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成31年4月1日～令和元年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,000	40	10	5.57
今回修正予想(B)	4,392	123	85	47.17
増減額(B-A)	392	83	75	
増減率(%)	9.8	207.5	750.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成31年3月期第2四半期)	3,710	△35	△38	△21.27

令和2年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,100	90	30	16.72
今回修正予想(B)	8,400	130	90	50.17
増減額(B-A)	300	40	60	
増減率(%)	3.7	44.4	200.0	
(ご参考)前期実績 (平成31年3月期)	7,766	△8	△74	△41.34

修正の理由

連結業績予想修正理由

令和2年3月期第2四半期(累計)

売上高については、個別業績が当初予想に対して大きく上回る見込みとなったことにより、連結業績もその影響を受け、売上高は3億70百万円、営業利益は1億8百万円、経常利益は1億6百万円、当期純利益は84百万円、それぞれ上回る見込みとなりました。

令和2年3月期通期連結期間

第2四半期同様に個別業績の影響を受けることを加味し、当初予想より売上高は2億円、営業利益は20百万円、経常利益は10百万円、当期純利益は20百万円上方修正いたします。

個別業績予想修正理由

令和2年3月期第2四半期(累計)

切削機具事業では、新しく開発したダイヤモンドコアビット(消耗品)の売上が当初予想を上回ったこと、消耗品を中心に消費税増税前の駆け込み需要があったこと、特殊工事業では、前期からの大型工事が順調に推移し、当初予想を上回ったこと、建設・生活関連品事業では、大型受注により当初予想を大きく上回ったこと、消費税増税前の駆け込み需要があったことにより、個別業績は売上高は3億92百万円、経常利益は83百万円、当期純利益は75百万円、それぞれ上回る見込みとなりました。

令和2年3月期通期期間

消費税増税後の反動の影響を受けることも加味し、売上高は3億円、経常利益は40百万円、当期純利益は60百万円、それぞれ当初予想を上回る予想といたします。

以上